

平成29年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（後期）

試験区分	<ul style="list-style-type: none">■ 一般入試■ 外国人留学生特別入試■ 社会人特別入試
試験科目名	<ul style="list-style-type: none">■ 専門試験（映像・表現文化論）□ 共通外国語（）
出題の意図	<p>問題Ⅰ 映像・表象文化、日本近現代文学・思想に関する基本的な知識を問う。</p> <p>問題Ⅱ 映像・表象文化、または日本近現代文学・思想に関する論文を読解し、自分の意見を論述することにより、専門分野に関する理解力と表現力を問う。</p> <p>(A) 日本近現代文学における「書き手」「読み手」「コミュニケーション」の関わりに関する問題</p> <p>(B) 「映画を見る」経験に触れてロラン・バルトが「恋する距離」と呼ぶものに関する問題</p>

平成29年度
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 映像・表現文化論 全6枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 6枚、解答用紙 4枚を配付する。

- ・ 解答は問題Ⅰと問題Ⅱについて、別々の解答用紙に記入すること。
- ・ 問題Ⅱは、A・Bの中から一つを選んで解答すること。

問題Ⅰ

次の1～12の語句の中から、3つを選択し、選択番号を明記した上で、その語句について知るところを記しなさい。

1. 「歌よみに与ふる書」
2. イマジナリー・ライン
3. 『女学雑誌』
4. 小説文体と欧文脈
5. アーカイヴ・ドキュメンタリー
6. ヒッチコック＝ホークス主義
7. ドローン・ショットの実例
8. 「太陽の季節」（小説）
9. 大正労働文学
10. キャラクターとキャラ
11. 川島雄三
12. 在日朝鮮人文学

問題Ⅱ A

次の文章は、飯田祐子『彼女たちの文学』（名古屋大学出版会、2016年）の一節である（一部を省略した）。(1) この文章の内容を要約しなさい（200字程度）。(2) 日本近代文学における「書き手」「読み手」「コミュニケーション」の関わりについて、問題文との関連に留意しつつ、作家・作品名を挙げて具体的に論じなさい（800字～1200字）。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 飯田祐子『彼女たちの文学』、名古屋大学出版会、2016年、99-102頁。

問題Ⅱ B

次の文章は、田中純『都市の詩学 場所の記憶と徴候』（東京大学出版会、2007年）の一節である。(1) この文章の内容を要約しなさい（200字程度）。(2) 文中の「恋する距離」について、任意の映画作品に即し具体的に論じなさい（800～1200字）。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 田中純『都市の詩学 場所の記憶と徴候』、東京大学出版会、2007年、122-125頁。

